

富来地域小中学校適正規模・適正配置検討委員会

(検討資料)

令和5年10月

富来地域小中学校適正規模・適正配置検討委員会

目 次

・ 資料 1	富来地域小中学校適正規模・適正配置検討委員会 組織一覧	1
・ 資料 2	富来地域小中学校適正規模・適正配置検討委員会 設置要綱	2
・ 資料 3	諮問書	4
・ 資料 4	富来地域小中学校適正規模・適正配置検討委員会 開催経過	6
・ 資料 5	富来地域における児童生徒数の推移と今後の見込みについて	7
・ 資料 6	富来地域小中学校適正規模・適正配置に関するアンケート調査	10

ーダイジェスト版ー

・ 資料 7	富来地域小中学校の規模配置に係る各団体の意見の状況	25
・ 資料 8	富来地域小中学校の配置に係る 3 パターン比較検討	27
・ 資料 9	小中一貫教育学校の概要について ー珠洲市立宝立小中学校ー	28

資料 1

富来地域小中学校適正規模・適正配置検討委員会 委員名簿

(敬称略・順不同)

No.	役 職	氏 名	区 分	備 考
1	委 員 長	中島 進	学識経験者	元教育委員長
2	副委員長	山本 政人	教育委員会が必要と認める者	志賀町区長会から推薦 (富来地域の区長)
3	委 員	富澤 軒康	志賀町議会議員	議会から推薦 (富来地域の議会議員)
4	〃	寺井 強	志賀町議会議員	議会から推薦 (富来地域の議会議員)
5	〃	小堀 正宏	学識経験者	元教育委員長
6	〃	田中 利弘 松本 安雄 (R5. 4. 1より)	教育関係者	富来小学校校長
7	〃	板岡 和之	教育関係者	富来中学校校長
8	〃	長根尾信悟	教育委員会が必要と認める者	富来小学校PTAから推薦
9	〃	金谷 重成	教育委員会が必要と認める者	富来中学校PTAから推薦

【事務局】

10	教 育 長	間嶋 正剛	総 括
11	学 校 教 育 課 長	荒川 仁 藤井 専 (R5. 4. 1より)	
12	学 校 教 育 課 参 事	芳野 了俊	
13	学校教育課課長補佐	岡田 政行	

資料 2

富来地域小中学校適正規模・適正配置検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 志賀町立学校設置条例（平成17年志賀町条例第88号）別表第1及び別表第2に掲げる小学校及び中学校（以下「学校」という。）における学校教育の一層の充実及び振興を目指し、富来地域の学校の適正規模及び適正配置等について検討するため、富来地域小中学校適正規模・適正配置検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について検討し、答申する。

- (1) 富来地域の学校の適正規模に関すること。
- (2) 富来地域の学校の適正配置に関すること。
- (3) その他、教育委員会が必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 志賀町議会議員
- (3) 教育関係者
- (4) 教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、任命の日から第2条に規定する所掌事務が終了する日までとする。ただし、委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 検討会に委員長及び副委員長各1人を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長がこれを招集し、議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長は、その所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴き、又は必要な説明若しくは資料の提出を求めることができる。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(その他)

第9条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、令和4年4月1日から施行する。

(招集の特例)

- 2 委員の任命後最初に開かれる検討会の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育委員会が招集する。

(失効)

- 3 この告示は、第4条に定める答申の日限り、その効力を失う。



志教学第 3 4 3 号
令和 4 年 5 月 2 4 日

富来地域小中学校適正規模・適正配置検討委員会
委 員 長 様

志賀町教育委員会
教育長 間嶋 正剛

諮 問 書

富来地域の子どもたちが健やかに成長できる環境づくりや地域の実情に応じた学校教育の実現に資するため、富来地域小中学校適正規模・適正配置検討委員会設置要綱第 2 条の規定により、次の事項について貴委員会に諮問します。

- 1 富来地域小中学校における適正規模・適正配置のあり方について

諮 問 理 由

富来地域におきましては人口減少や少子化により児童生徒が減少し、平成17年4月1日には富来地域の小学校5校を1校に統合するなど、小中学校の適正規模・適正配置に努めてまいりました。

しかしながら、人口減少に歯止めがかからず、引き続き、児童生徒数の減少が進行すると、適正な学校規模の維持は難しくなることが予想され、子どもたちの学習や学校生活への影響のほか、学校行事の縮小、部活動等の制約といった諸問題が懸念されています。

このため、将来的な視野に立った小中学校の教育環境について検討が必要となり、令和3年11月の志賀町総合教育会議において、「将来に向けての小中学校適正規模・適正配置等について」の協議を行い、小中学校の教育環境を整備し、教育効果を高めることを目的に、教育委員会において、小中学校の適正規模・適正配置等の方針を策定することとなりました。

つきましては、子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを最優先に、地域の特色を生かした学校運営や学校統合などの学校配置、学校の小規模化に伴う諸問題への対応など、地域の実情に応じた最適な学校教育のあり方や学校規模について調査検討していただき、ご提言いただきますようお願い申し上げます。

資料 4

富来地域小中学校適正規模・適正配置検討委員会 開催経過

月 日	件 名	内 容
令和4年 5月27日	第1回検討委員会	・委嘱状交付 ・委員長及び副委員長の選出 ・諮問書の提出
7月14日	第2回検討委員会	・富来地域の学校の現状について ・児童生徒数の減少が進む地域での学校の配置例について ・地域の特色や小規模校の特色を生かした学校運営の工夫例について
10月26日	第3回検討委員会	・アンケート調査結果について
12月19日	第4回検討委員会	・富来地域小中学校の規模・配置に係る団体意見について
令和5年 2月 6日	第5回検討委員会	・小学校の配置について ・中学校の配置について
3月20日	第6回検討委員会	・学校配置について ①小中一貫校のについて ②志賀中学校との統合について ③新たな学校の配置時期について
5月22日	第7回検討委員会	・答申作成に向けての今後の予定について
7月 5日	第8回検討委員会	・学校の適正規模・適正配置等の答申（案）について
8月 9日	第9回検討委員会	・学校の適正規模・適正配置等の答申（案）について
9月20日	第10回検討委員会	・学校の適正規模・適正配置等の最終答申について

資料 5

富来地域における児童・生徒数の推移と今後の見込みについて

□ 推計の方法について

児童・生徒数の将来推計について、令和4年度以降の就学見込みを、調査基準日（令和4年3月31日）に住民登録のある0歳から5歳までの人口を基に集計しました。

なお、児童・生徒数の推移については、令和4年度の人数がそのまま進級することを前提としています。

○ 学級編制について

小中学校の学級編制については、国が定める標準を基に、石川県が設定した1学級の児童・生徒数で行っています。

・令和4年度 1学級の人数（石川県）

小学校 1・2・3・4年生：35人 5・6年生：40人

中学校 1年生：35人 2・3年生：40人

※国の学級編制の標準

小学校の場合 1年～3年は35人、4年～6年は40人。

中学校の場合 1年～3年は40人

※石川県の基準で、小学校4年生、中学校1年生は、35人を超える場合は、35人学級か加配教員1を学校選択

○ 複式学級について

国の基準では、以下の場合、2つの学年で1つの学級を編制することとしています。

①小学校では、引き続く2つの学年の児童数が16人以下の場合

（ただし、1年生の児童を含む場合は8人以下）

②中学校では、引き続く2つの学年の生徒数が8人以下の場合

富来小学校 児童数の推計

学年	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度	R13 年度	R14 年度	R15 年度	R16 年度
1年	13	14	8	16	8	14	9	8	8	8	6	6	4
2年	19	11	14	8	16	8	14	9	8	8	8	6	6
3年	18	18	11	14	8	16	8	14	9	8	8	8	6
4年	15	18	18	11	14	8	16	8	14	9	8	8	8
5年	22	16	18	18	11	14	8	16	8	14	9	8	8
6年	19	22	16	18	18	11	14	8	16	8	14	9	8
合計	106	99	85	85	75	71	69	63	63	55	53	45	40

※2・3年生
複式学級

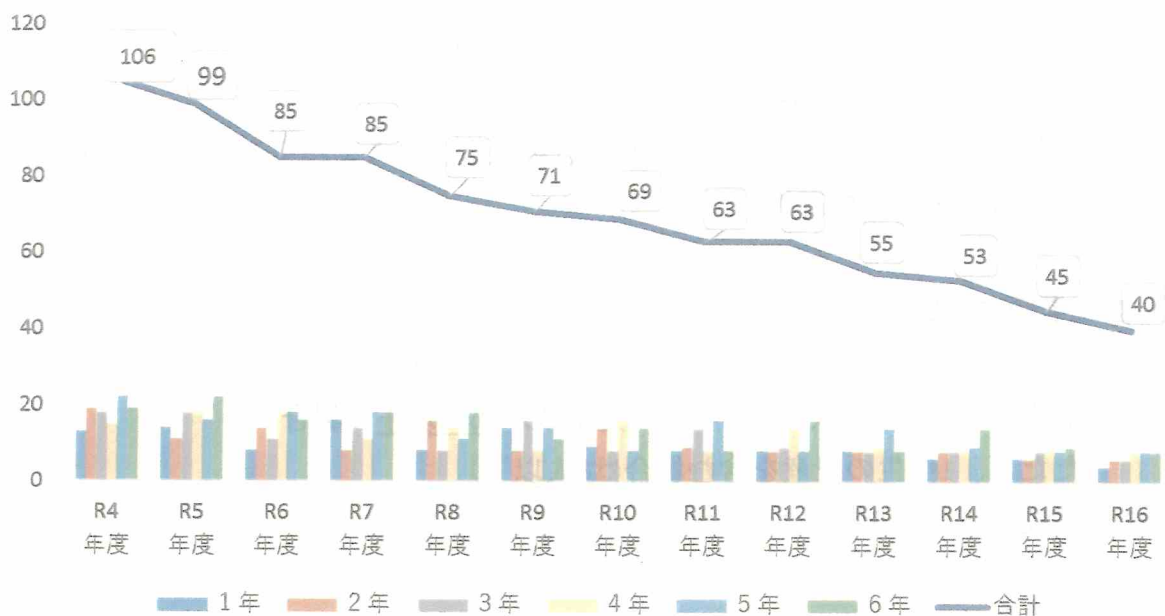
※2・3年生
4・5年生
複式学級

※令和5年度～令和10年度は、出生数（令和4年3月31日現在）で在籍数を計算している。

※令和11年度～令和17年度は、出生数が、仮に8名、6名、4名になったと想定して、在籍数を計算している。

※学級編制基準からすると、複式学級が編制されるのは令和13年度前後からと推定される。

富来小学校 児童数の推計



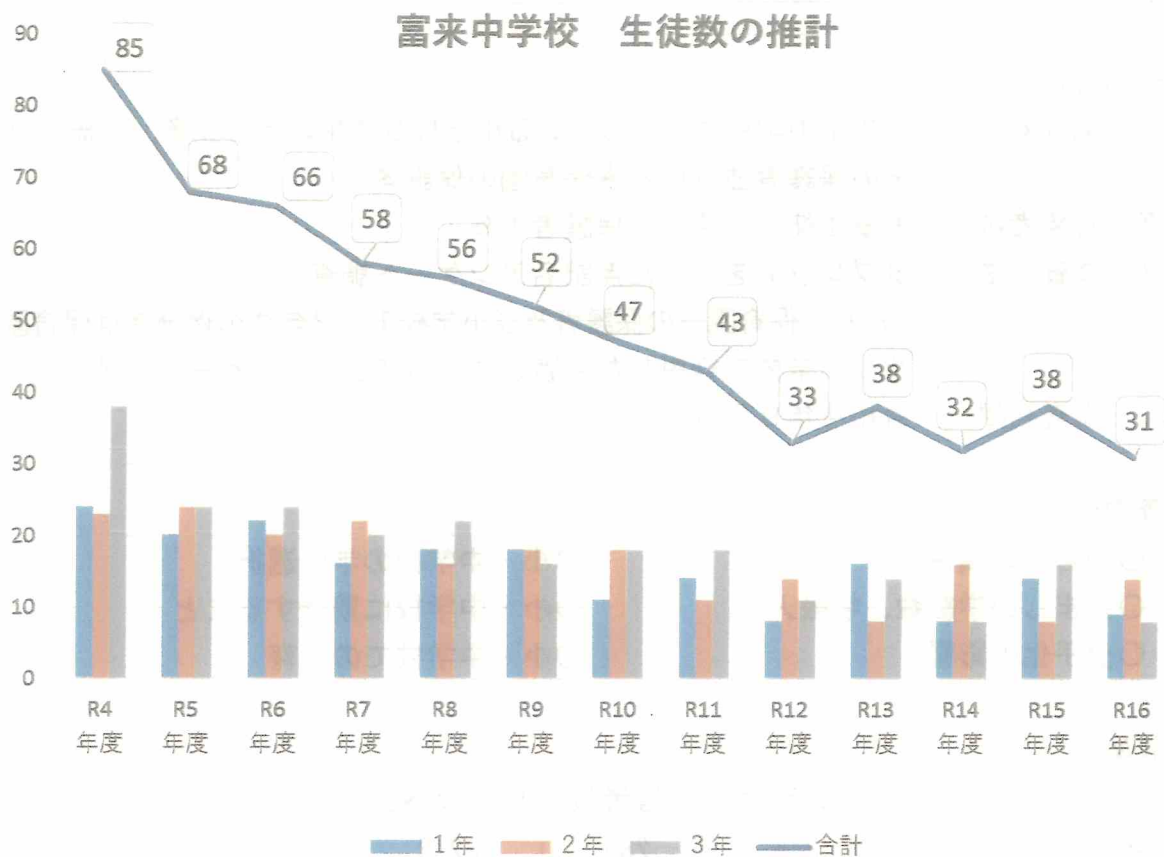
富来中学校 生徒数の推計

学年	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度	R13 年度	R14 年度	R15 年度	R16 年度
1年	24	20	22	16	18	18	11	14	8	16	8	14	9
2年	23	24	20	22	16	18	18	11	14	8	16	8	14
3年	38	24	24	20	22	16	18	18	11	14	8	16	8
合計	85	68	66	58	56	52	47	43	33	38	32	38	31

※令和5年度～令和10年度は、出生数（令和4年3月31日現在）で在籍数を計算している。

※令和10年度前後から、在籍数50人を切ることが予想される。

※学級編制基準からすると、複式学級になることはない。



資料 6

富来地域小中学校適正規模・適正配置に関するアンケート調査結果

■調査の概要

目的

本町では人口減少に加え、急激な少子高齢化が進み、特に富来地域での児童、生徒数が著しく減少していることを踏まえ、将来の富来地域の小中学校のあり方を検討するため、「富来地域小中学校適正規模・適正配置検討委員会」を設置する。この調査は、保護者等の意向を把握し、児童生徒の減少に伴う教育環境の整備と教育上の諸問題を検討するための指標を得ることを目的とする。

調査の方法

- ① 調査対象 富来小中学校に就学している小学校3年生以上の児童、生徒及びその保護者並びにとぎ保育園の保護者
- ② 対象者数 児童生徒124人、保護者161人
- ③ 調査方法 タブレットを使った無記名アンケート調査
ただし、保育園児の保護者及び小学校1、2年生の保護者は保育園及び小学校を経由した手渡しによる無記名アンケート調査
- ④ 調査期間 令和4年9月30日～10月5日

調査内容

- 回答者の属性
- 望ましい学級数、学級人数
- 少子化の影響
- 小・中学校の学校選択
- 小・中学校に期待すること
- 小・中学校での教育

回収率

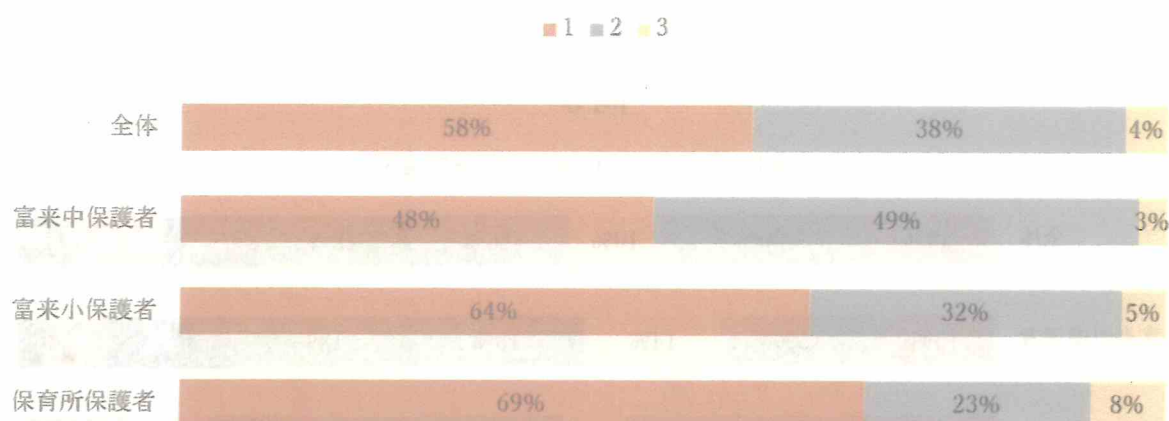
	対象者数	回答者数	回収率(%)
全体	346	285	82.3
保護者	200	161	80.5
うち保育園	47	26	55.3
うち小学校	79	66	83.5
うち中学校	74	69	93.2
児童(3年生以上)	61	49	80.3
生徒	85	75	88.2

富来地域小中学校適正規模・適正配置に関するアンケート結果（保護者用）

問4 小学校の1学年あたりのクラス数は、どの程度が望ましいと思いますか。1つ選んでください。

- 1 今のまま（1学年1学級）でよい
- 2 2～3クラス（全学年で12～18学級）がよい
- 3 複式学級（複数学年が1学級）でもよい

問4



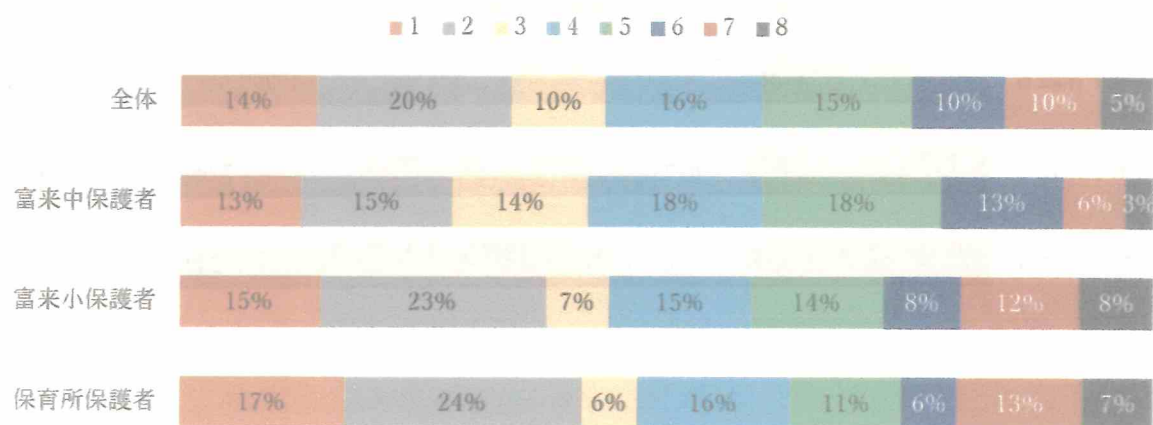
【考察】

- ・保護者全体では、1「今のままでよい」が58%となっており、半数を超えている。特に富来小学校、保育所の保護者は、1「今のままでよい」の割合が高くなっている。富来中学校の保護者は1、2の割合が、ほぼ同数となっている。保護者は、小学校のクラス数は「今のままでよい」と考えていることが分かる。

問5 問4で選んだ項目について、そう思われる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを3つ選んでください。

- 1 仲良しの児童とずっと同じクラスで過ごせ、互いに親密になる
- 2 一人ひとりに目が行き届き、丁寧な指導が期待できる
- 3 クラス替えがあり、たくさんの友達ができる
- 4 さまざまな個性を持つ友達と触れ合いながら、お互いが高め合うことができる
- 5 協調性をやしなう機会に恵まれる
- 6 学校全体に活気があり、学校行事が盛大にできる
- 7 学校行事で活躍の機会が豊富にある
- 8 学年を超えた友達ができる

問5



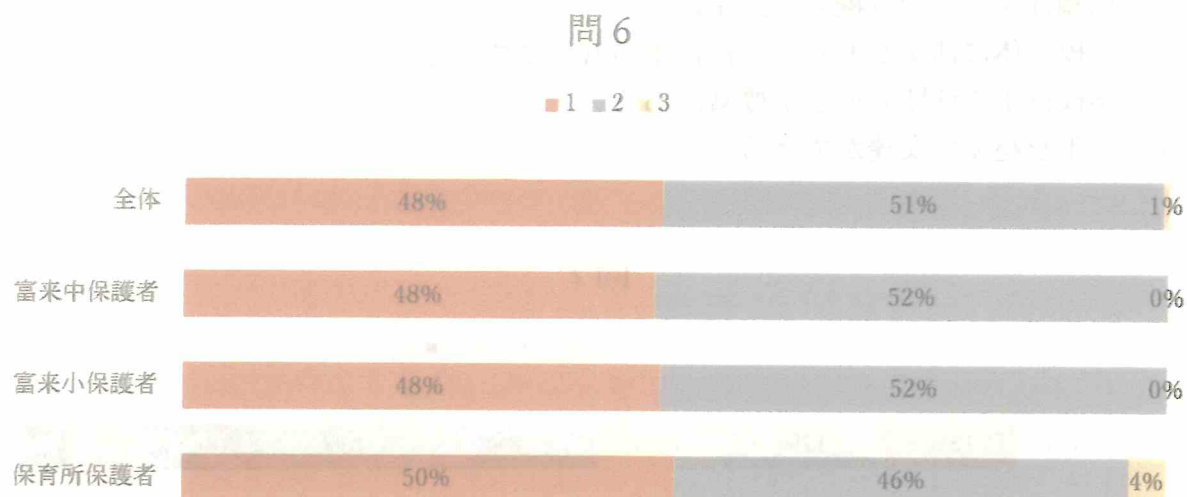
【考察】

- ・保護者全体では、2「一人ひとりに目が行き届き、丁寧な指導が期待できる」が20%と最も多い。

保護者は、丁寧な指導を期待していることが分かる。

問6 中学校の1学年あたりのクラス数は、どの程度が望ましいと思いますか。1つ選んでください。

- 1 今のままでよい（1学年1学級）
- 2 2～3クラス（全学年で6～9学級）がよい
- 3 複式学級（複数学年が1学級）でもよい



【考察】

- ・保護者全体では、2「2～3クラス（全学年で6～9学級）がよい」が、1「今のままでよい」をやや上回っている。
- ・小学校のクラス数については、「今のままでよい」と考えている保護者が多かった。中学校のクラス数については、小学校と比べ、2「2～3クラス（全学年で6～9学級）がよい」と考えている保護者が多いことが分かる。

問7 問6で選んだ項目について、そう思われる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを3つ選んでください。

- 1 仲良しの児童とずっと同じクラスで過ごせ、互いに親密になる
- 2 一人ひとりに目が行き届き、丁寧な指導が期待できる
- 3 クラス替えがあり、たくさんの友達ができる
- 4 さまざまな個性を持つ友達と触れ合いながら、お互いが高め合うことができる
- 5 協調性をやしなう機会に恵まれる
- 6 学校全体に活気があり、学校行事が盛大にできる
- 7 学校行事で活躍の機会が豊富にある
- 8 学年を超えた友達ができる

問7



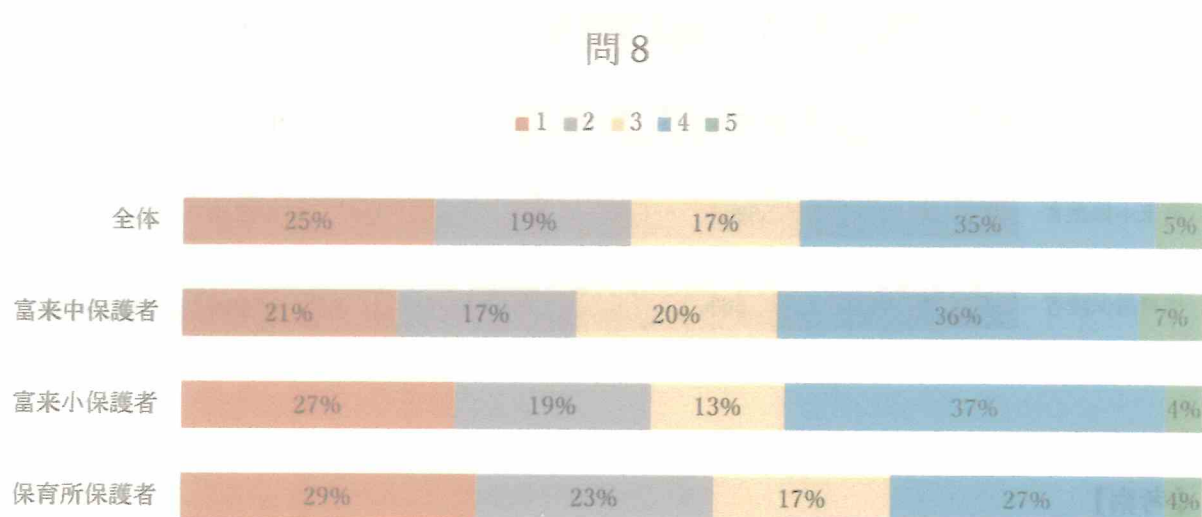
【考察】

- ・保護者全体では、4「さまざまな個性を持つ友達と触れ合いながら、お互いが高め合うことができる」が18%と最も多くなっている。

保護者は、より多くの友達との切磋琢磨を期待していることが分かる。

問8 小中学校の小規模化が進むと、学校生活ではどのような影響がでると思いますか。2つ選んでください。

- 1 クラス替えができず、人間関係が固定化される
- 2 競い合いが生まれず、学力・体力・技術などが向上しづらい
- 3 運動会や体育祭、文化祭などの集団活動や集団学習が制限される
- 4 部活動が少ないため、希望する部活動ができない
- 5 教員の数が減り、授業で専門外の教科を指導しなければならない



【考察】

- ・保護者全体では、4「部活動が少ないため、希望する部活動ができない」が35%で最も多く、次に、1「クラス替えができず、人間関係が固定化される」が25%となっている。

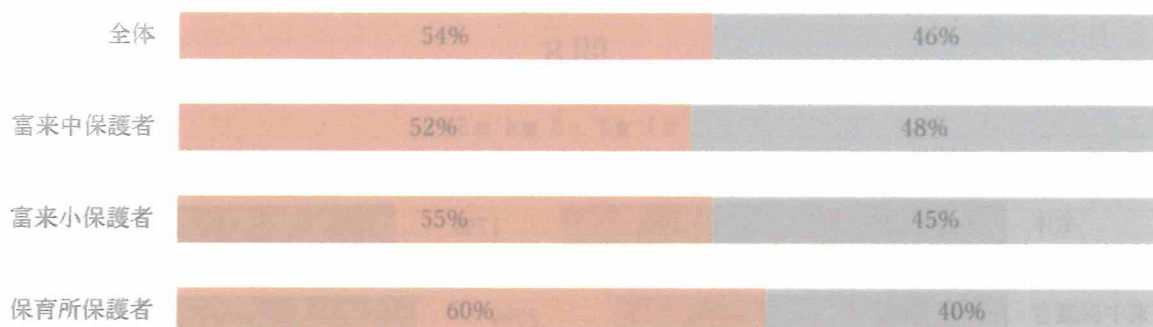
保護者は、部活動の選択の幅を広げてほしいと考えていることが分かる。

問9 小中学校の学校選択について、どのようにお考えですか。1つ選んでください。

- 1 今までどおり、指定された小中学校に入学させるべきだと思う
- 2 町内の小中学校ならば、どこに入学させてもよいと思う

問9

■ 1 ■ 2



【考察】

- ・保護者全体では、1「今までどおり、指定された小中学校に入学させるべきだと思う」が54%と半数を超えている。
- ・学年が上がるにつれて、学校選択に肯定的な意見が多くなっていることが分かる。

=総括=

- ・クラス数は、小学校は「今のままでよい」と考えているが、中学校は、「2～3クラスがよい」と考えている保護者が多い。
- ・小学校では「ていねいな指導」を期待し、中学校では「多くの友達との切磋琢磨」、「部活動の選択の幅を広げること」を期待している。

学校生活に関するアンケート（富来小学校児童用）

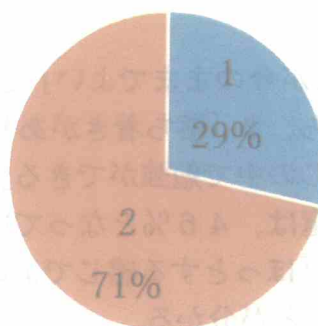
問1 あなたの学校の児童数について、どのように感じますか。1つを選んでください。

- 1 もっと多いほうがよい
・・・問2に進んでください
- 2今のままでよい
・・・問3に進んでください

【考察】

- ・「今のままでよい」と考えている児童が71%と半数を超えている。
児童は、「今のままでよい」と考えていることが分かる。

問1



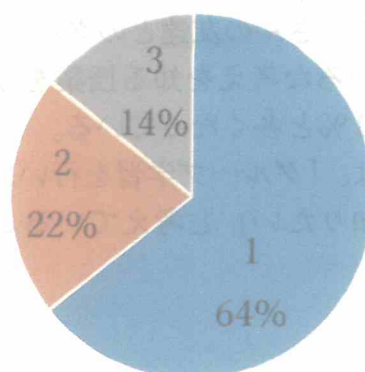
問2 問1で「1」を選んだ方について、そう思うのはなぜですか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 クラス替えがあり、たくさんの友達をつくらことができる
- 2 運動会や学習発表会の学校行事がもりあがる
- 3 たくさんの友達と力を合わせて勉強や運動ができる

【考察】

- ・「児童数がもっと多いほうがよい」と答えた児童のうち、1「クラス替えがあり、たくさんの友達をつくらことができる」と思っている児童は、64%と半数を超えている。
児童は「たくさんの友達を作りたい」と考えていることが分かる。

問2



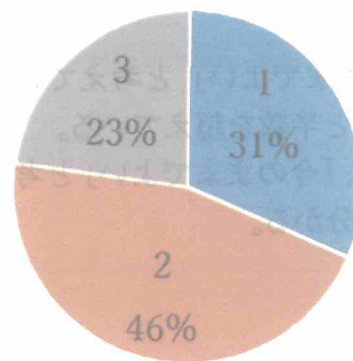
問3 問1で「2」を選んだ方について、そう思うのはなぜですか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 児童全員が顔見知りで、学校がまとまりやすい
- 2 落ち着きがあり、ほっとする感じの中で勉強ができる
- 3 こまったときに先生がすぐに気づいてくれて、ていねいに指導を受けることができる

【考察】

- ・「児童数が今のままでよい」と答えた児童のうち、2「落ち着きがあり、ほっとする感じの中で勉強ができる」と思っている児童は、46%となっている。
- 児童は、「ほっとする感じでよい」と考えていることが分かる。

問3



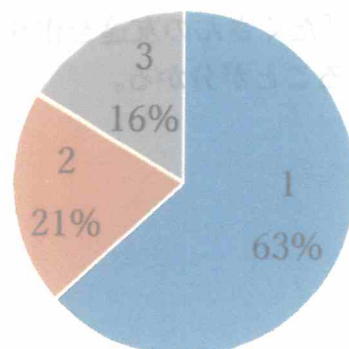
問4 いまの学校の授業について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 たくさんの友達とのグループ学習で、いろいろな考えを知る授業をうけたい
- 2 先生がていねいに教えてくれて、発表や活動がたくさんできる授業をうけたい
- 3 いろいろな先生に教えてもらいたい

【考察】

- ・1「たくさんの友達とのグループ学習で、いろいろな考えを知る授業をうけたい」が63%と多くなっている。
- 児童は、「グループ学習を行い、多様な考えを知りたい」と考えていることが分かる。

問4



問5 いまの学校の行事について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

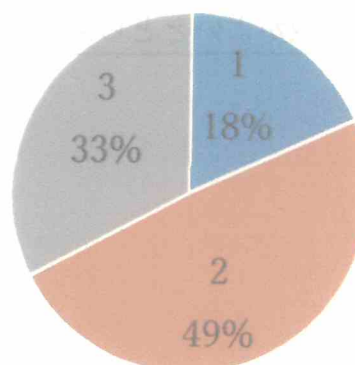
- 1 運動会や発表会などで、人数が少ないために競えない
- 2 運動会のプログラムが少ないので、運動会がすごくさみしい
- 3 人数が少ないため、全員で発表会の準備をしなければならず、たいへんである

【考察】

- ・ 2「運動会のプログラムが少ないので、運動会がすごくさみしい」が49%となっている。

児童は、「学校行事がさみしい」と考えていることが分かる。

問5



問6 いまの学校生活について、あなたの考えに近いものを3つ選んでください。

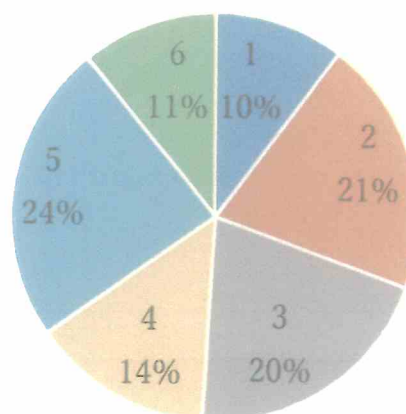
- 1 クラスがえがないので、あたらしい友達を作りにくい
- 2 先生や児童の団結が強く、学校全体が一体となって活動しやすい
- 3 先生がすぐに気づいてくれて、ていねいにアドバイスを受けることができる
- 4 運動会や発表会などの学校行事で、きょうぎやプログラムがせいげんされる
- 5 運動場や体育館、図書室など、よゆうをもってつかえる
- 6 運動場や体育館に、ボールなどのゆうぐが少ない

【考察】

- ・ 5「運動場や体育館、図書室など、余裕をもって使える」が24%と最も多く、次は2「先生や児童の団結が強く、学校全体が一体となって活動しやすい」の21%となっている。

児童は、肯定的にとらえていることが分かる。

問6



＝総括＝

- ・問１の結果「今のままでよい」と考えている児童が７１％、
問６の結果「施設が余裕をもって使える」が２４％、
「学校全体が一体となって活動しやすい」が２１％
から見ると、現状の児童数や学校活動を肯定的にとらえている。
- ・問４（授業について）の結果「たくさんの友達とのグループ学習で、いろいろな考えを知る授業をうけたい」が６３％、
問５（行事について）の結果「学校行事がさみしい」が４９％から見ると、
多人数がよいととらえている。

学校生活に関するアンケート（富来中学校生徒用）

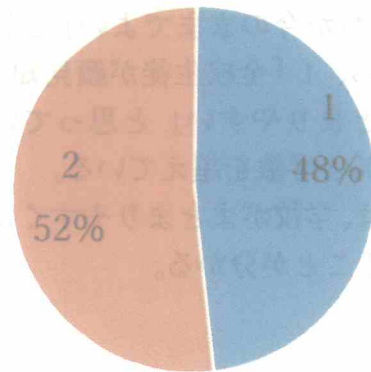
問1 あなたの学校の生徒数について、どのように感じますか。1つを選んでください。

- 1 もっと多いほうがよい
・・・問2に進んでください
- 2 今のままでよい
・・・問3に進んでください

【考察】

- ・「今のままでよい」と考えている生徒が半数を超えている。1と2の割合は拮抗している。

問1



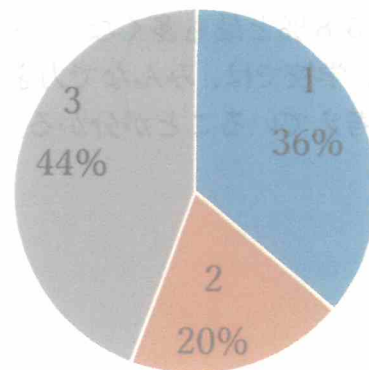
問2 問1で「1」を選んだ方について、そう思う理由は何ですか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 クラス替えがあり、たくさんの友達を作ることができる
- 2 たくさんの部活動や委員会がある
- 3 体育祭や文化祭等の学校行事が盛り上がり、クラスに活気が出る

【考察】

- ・「生徒数がもっと多い方がよい」と答えた生徒のうち、3「体育祭や文化祭等の学校行事が盛り上がり、クラスに活気が出る」と思っている生徒は、44%と最も多くなっている。
生徒は、学校行事を盛り上げたいと考えていることが分かる。

問2



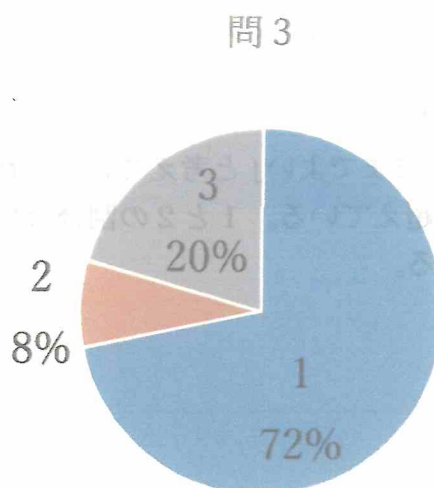
問3 問1で「2」を選んだ方について、そう思うのはなぜですか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 全校生徒が顔見知りで、学校がまとまりやすい
- 2 困ったときに先生がすぐに気づいてくれて、いつでも相談できる
- 3 運動場や体育館、図書室、教材備品など余裕を持って利用することができる

【考察】

- ・「生徒数が今のままでよい」と答えた生徒のうち、1「全校生徒が顔見知りで、学校がまとまりやすい」と思っている生徒が72%と半数を超えている。

生徒は、学校がまとまりやすくよいと考えていることが分かる。



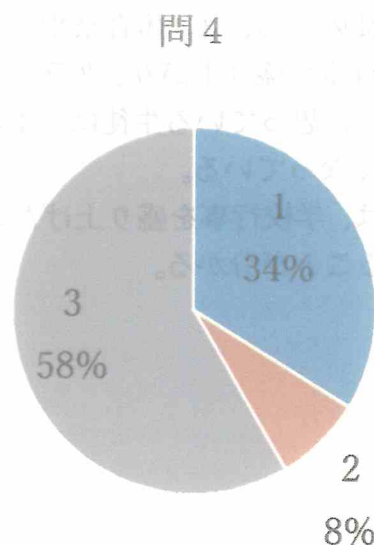
問4 現在の学校の授業について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 授業で発言者が少なく、意見の広がりがない
- 2 音楽、美術、技術、家庭の専門の先生がいないので、専門の先生がほしい
- 3 友達と力を合わせて勉強や運動ができる

【考察】

- ・3「友達と力を合わせて勉強や運動ができる」が58%と最も多くなっている。

生徒は、学校では、みんなで力を合わせていると考えていることが分かる。



問5 現在の学校の行事について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

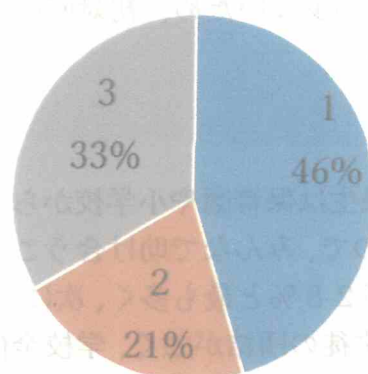
- 1 体育祭や文化祭、生徒会活動で、一人ひとりが活躍できる機会がある
- 2 団体競技やプログラムなどに制限があり、少し物足りなさがある
- 3 人数が少ないため、体育祭や文化祭がさみしい

【考察】

- ・ 1「体育祭や文化祭、生徒会活動で、一人ひとりが活躍できる機会がある」が46%と最も多くなっている。生徒は、学校行事で一人ひとりが活躍できていると考えていることが分かる。一方で、3「人数が少ないため、体育祭や文化祭がさみしい」が33%となっている。

生徒は、学校行事がさみしいと感じていることが分かる。

問5



問6 現在の学校の部活動について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

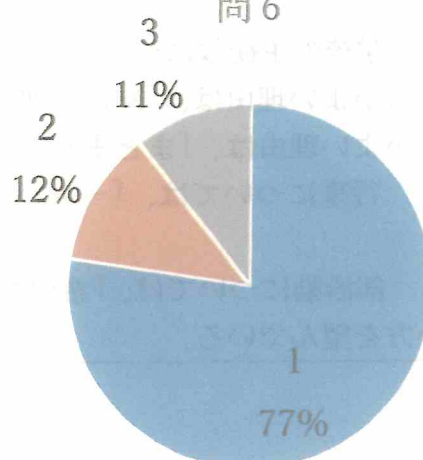
- 1 部活動の数が少ないため、希望する部活動ができない
- 2 練習場所が狭い
- 3 先生の人数が少ないため、競技未経験の先生が顧問となり、専門的な指導が受けられない

【考察】

- ・ 1「部活動の数が少ないため、希望する部活動ができない」が77%と、4分の3を超えている。

生徒は、希望する部活動に入部したいと考えていることが分かる。

問6



問7 現在の学校生活について、あなたの考えに近いものを3つ選んでください。

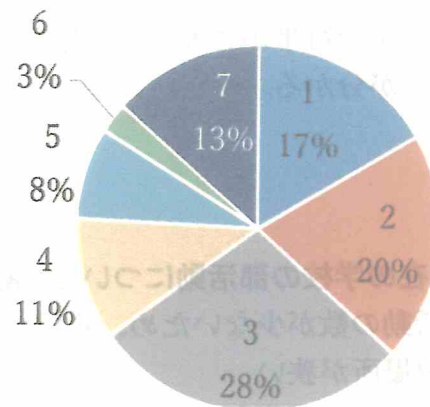
- 1 クラス替えができず、ずっと同じ友達しかいない
- 2 先生方や生徒の団結が強く、学校全体の雰囲気が良い
- 3 同級生は保育園や小学校からずっと一緒なので、みんなで助け合うことができる
- 4 集団による競い合いや、勉強やスポーツでの競争意識が低い
- 5 体育の授業でサッカーやバレーボールなどの団体競技ができない
- 6 先生の人数が少なく、特別な相談がしにくい。
- 7 人数が少ないため、初対面の人とどうやって接すればよいか等の対応が分からない

【考察】

- ・ 3「同級生は保育園や小学校からずっと一緒なので、みんなで助け合うことができる」が28%と最も多く、次に、2「先生方や生徒の団結が強く、学校全体の雰囲気が良い」の20%、1「クラス替えができず、ずっと同じ友達しかいない」が17%となっている。

生徒は、現在の学校生活を概ね肯定的にとらえていることが分かる。

問7



＝総括＝

- ・ 問1の学校の生徒数については、「多い方がよい」と「今のままでよい」が半々。多い方がよい理由は、「友達が増える」、「クラスに活気」。現状がよい理由は、「まとまりやすい」、「助け合うことができる」。
- ・ 問5 行事については、「一人ひとりが活躍できる機会がある」と現状に肯定的。
- ・ 問6 部活動については、「希望する部活動ができない」が77%と、生徒数が多い方を望んでいる。

資料 7

富来地域小中学校の規模配置に係る各団体の意見の状況

1 意見の分類

今後の検討の方向性として、4パターンが想定されます。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ①小学校、中学校もそのまま残す | ②小学校は残し、中学校は志賀中と統合 |
| ③小学校、中学校とも志賀小中と統合 | ④小中一貫校 |

意見を頂いた各団体の主な意見をこの4パターンから、分類しました。

①小学校、中学校もそのまま残す

- ・現状がよい。(小P)
- ・現状のまま、統合はしない。(中P)
- ・複式学級になるまで、統合はしない。(中P)
- ・学校は存続してほしい。(中T)
- ・統合せず、現在のまましばらく続ける。(小評議員)
- ・存続をお願いしたい。(商工会)
- ・できるだけ統合せず、小規模校での運営を望みます。(保育園)
- ・富来エリアに小中学校はないといけない。(保育園)
- ・小学校、中学校は、複式学級になっても、富来地区においてほしい。(保育園)
- ・富来地域には、絶対小中学校を残すべきです。(区長)
- ・少人数クラスになっても残すべきである。(区長)
- ・通学の問題を発生するので、現行で進行するでよい。(区長)
- ・小中学校とも、志賀地域に統合することは強く反対する。(区長)

②小学校は残し、中学校は志賀中と統合

- ・中学校は、部活が限られているので、統合もありかなと思う。(小P)
- ・中学校は、早い段階で統合を考えてもよい。(小P)
- ・小学生は体力的に負担が大きいですが、中学生なら、部活動のことを考えると、統合した方が、体力作りの大切な時期によい。(保育園)
- ・アンケート結果から見ても、児童生徒の年齢が高くなるにつれて、少人数肯定項目より、多人数肯定項目を多く選んでいる。よって、将来は統合が望ましい。(区長)
- ・小学校は、複式学級が編制されるのは、令和14年度前後から想定されるということで、推計表に基づき実施するのがよい。中学校は、複式学級になることはないがあるが、統合することが望ましいと思う。(区長)
- ・児童数がどれだけ減少しようと小学校はなくせず存続配置する。中学校は、学年クラスが15名以下になる時期には、地域の存続より、生徒が生き抜くための就学を優先させ、志賀中との統合がよい。(区長)
- ・小学校は、低学年の通学距離や時間、事故のリスク等を考えると、複式になる頃に再度検討することとし、現状のままだがベターと考える。中学校については、将来や部活動を考えると、また中古の校舎を使用している現状から、統合が望ましい。(区長)
- ・小学校については、当面現状のままとし、複式学級になる頃をめどに、志賀小学校との統合検討する計画をする。中学校においては、できるだけ早く志賀中と統合し、大人数の中で成長できる環境を提供すべきである。(区長)

③小学校、中学校とも志賀小中と統合

- ・教育環境を考えれば、統合がよい。（小P）
- ・当地区にはすでに子どもはいない。志賀町の一カ所に統廃合すべきである。（区長）
- ・最終的には、1町1校という選択肢は避けられない。（区長）

④小中一貫校

- ・小中一貫校への移行がよい。（中T）
- ・富来小中の統合化か、複式学級がよい。（保育園）
- ・富来の小中学校を1つに統合して残してほしい。（保育園）

⑤その他

- ・小学校は、なるべく今のままがよいが、複式よりは統合がよい。（小P）
- ・少子化の現実の元、統合も視野に入れながら、複式学級も致し方ない。（区長）
- ・当集落には、児童数ゼロ。今後増える可能性はない。個人的には、志賀小中に入学させたい。（区長）

2 懸案事項

○統合した場合

- ・通学距離が長くなる。（子どもや保護者の負担が増える）（小P）（保育園）
- ・通学が困難（片道40分、金銭的負担）（中T）
- ・これ以上遠距離通学は避けるべきです。（区長）
- ・人数的には統合がよいのだろうが、志賀中だと距離的に通学範囲とは思えない。（区長）
- ・志賀小と統合すると、通学に時間がかかりすぎ、不公平感がある。（保育園）
- ・通学時間による子どもの負担が大きいようなら、学校の場所、授業時間等、考慮してほしい。（小P）
- ・始業時間を遅らせる等の対策をしてほしい。（中P）
- ・学童利用をどうするのか。（保育園）

3 その他

- ・とぎ保育園のこれからの人の意見を大切にする。（中P）
- ・金銭面などの効率だけで統廃合などすべきではない。（区長）
- ・行政は、統合のメリットだけ強調するのではなく、デメリットについて対処する謙虚さがほしい。（区長）
- ・子どもたちの負担（通学距離、時間）や地域の存亡を考慮し、十分な議論が必要であり、拙速な決定方針はしてほしくない。（区長）
- ・広い視野に立って将来の町の子どもたちのためにベストな結論を出してほしい。（区長）
- ・部活動の改善をすべき、先行して志賀中と一緒に部活動を行うなど。（区長）
- ・部活動で合同練習等の連携を図る。（小評議員）

【表記】

小P→富来小PTA

中P→富来中PTA

中T→富来中教職員

小評議員→富来小学校評議員

保育園→とぎ保育園保護者会

区長→富来地域区長

商工会→富来商工会

富来地域小中学校の配置に係る３パターン比較検討

項 目		①小学校、中学校ともそのまま存続		②小学校は存続、中学校は志賀中と統合		③小中一貫校	
1 通学	時間	○	これまで通り	○	小学校はこれまで通り	○	小、中どちらかが変わるが、大きな負担はない
	輸送・スクールバス等	○	これまで通り	△	中学校は、負担が増す	○	これまで通り
2 施設	現校舎維持、修繕	×	小学校、中学校も老朽化が進行	△	中学校の維持費がかからない	△	校舎が１カ所で済む。１校分の維持費がかからない。改修費はかかる。
3 教育課程		○	現行通り	○	現行通り	◎	９年間の特色ある教育課程が組める
4 アンケート 保護者意識	小：丁寧な指導	○	小学校は、少人数で丁寧な指導	○	小学校は、少人数で丁寧な指導	○	小学校は、少人数で丁寧な指導
	中：切磋琢磨	×	中学校の生徒数が少人数で固定	○	中学校は、複数クラスとなり、切磋琢磨する機会が増える	×	中学校の生徒数が少人数で固定
5 アンケート 児童生徒意識	集団での学校行事、授業	×	小、中学校とも行事の内容がさみしい。 友達が固定	△	小学校はさみしいが、中学校は、活性化する	△	小中合同で行うと、活性化する
	施設の余裕	○	小、中とも余裕を持って使える	△	小学校は余裕を持って使える。中学校は減る。	×	小中合同使用により、余裕は減る。
6 中学校部活動		×	生徒の希望する選択肢に限られる	○	生徒の希望する選択肢が増える	×	生徒の希望する選択肢に限られる

資料 9

小中一貫校の概要について（珠洲市立宝立小中学校）

1 計画から開校までの準備期間について

- ・平成20年 市教委が市長へ答申
- ・平成21年 保護者及び地域への説明会
- ・平成22年 統合案が正式決定
- ・平成22、23年度、3つの準備委員会を開催
(授業研究部会、英語教育部会、ふるさと学習部会)
- ・平成23年度、連携部会を追加し、4つの準備委員会を開催
- ・平成24年度 統合

2 施設の増改築について（学校沿革誌 （学校ホームページより））

珠洲市立宝立小学校

- 2010年（平成22年）－ 宝立中学校との統合案が正式決定される。
- 2012年（平成24年）－ 宝立小中学校に統合され、校舎は解体された。

珠洲市立宝立中学校

- 2010年（平成22年）－ 宝立小学校との統合案が正式決定される。
- 2011年（平成23年） 4月－ 増改築工事の実施により、宝立中学校生徒は宝立小学校に移動。
9月－ 新校舎の竣工並びに現校舎の改築完成に伴い、
宝立小学校・宝立中学校の児童・生徒ともに移動。
- 2012年（平成24年）－ 宝立小中学校に統合
- 2016年（平成28年）－ 学校教育法改正に伴い、義務教育学校に移行

珠洲市立宝立小中学校

【概要】

鉄筋コンクリート造の旧宝立小学校が旧基準の耐震強度であり、また市内の

児童数・生徒数の減少に歯止めがかからないことから、珠洲市立宝立中学校の校舎前に約6億円をかけて小学校舎を新築することで宝立中学校と統合することとなった。また、同じく耐震強度に問題のある中学校の屋内運動場も約3億4千万円をかけて同時に改築された。

【沿革】

2010年（平成22年）10月 - 起工

2011年（平成23年）9月 - 新小学校舎竣工ならびに現中学校舎改築完成。

2012年（平成24年）3月 - 落成 4月 - 開校

3 学校平面図（別紙参照）

- ・前期（1～4年）1階、中期（5年～7年）2階、後期（8～9年）3階に配置している。
- ・階段の段差、調理室の机の高さ、体育館ステージの高さは小学生用としてる。
- ・手洗い場は、小学生用と中学生用で高さが違う。
- ・特別教室（技術室、理科室等）は、小中が共用している。

4 児童生徒数

平成27年度 宝立小学校 児童数56人 宝立中学校 生徒数29人

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	特支	合計
H28	児童数	6	9	8	6	13	10	11	11	9	1	84
	学級数	1	1	1		1	1	1	1	1	1	9
H29	児童数	8	6	9	8	5	13	9	11	11	2	82
	学級数	1	1		1		1	1	1	1	1	8
H30	児童数	13	8	6	9	8	5	12	9	11	2	83
	学級数	1	1	1		1		1	1	1	1	8
R1	児童数	3	14	8	6	10	8	4	12	9	2	76
	学級数	1	1	1		1	1	1	1	1	1	9
R2	児童数	16	3	14	7	6	10	7	4	12	2	81
	学級数	1	1	1	1	1		1	1	1	1	9

R3	児童数	4	15	3	14	7	5	10	7	4	2	7 1
	学級数	1	1	1	1	1		1	1	1	1	9
R4	児童数	6	4	15	3	14	7	4	10	7	2	7 2
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1 1

5 教育課程等について

- ・学年段階区分は4－3－2制を採用。
- ・リーダーとなるチャンスが4回（4, 6, 7, 9年時）、大事にしたことは「上級生はお手本になること、かっこよくなること」
- ・特色ある教育活動は、英語、ふるさと教育（ふるさと珠洲科）。
- ・専科の授業担当（教科担任）
 - ☆美術、英語、理科等（中学校担当が小学校を指導、小学校の高学年中心）
 - ☆家庭科（小学校担当が中学校を指導）

6 部活動について

- ・令和4年度の現状（第3回検討委員会資料より）
 - 男子野球（3人）、男子ソフトテニス（9人）、女子ソフトテニス（9人）、女子バスケットボール（1人）
- ・野球、女子バスケットボール部は、平日は学校で練習し、合同チームで大会に参加。
- ・珠洲市では部活動の地域移行についての話は出ていない。

7 通学について

- ・一番遠い児童生徒で約4km、自転車での通学が基本。一部路線バスを利用。
- ・スクールバスの利用なし。